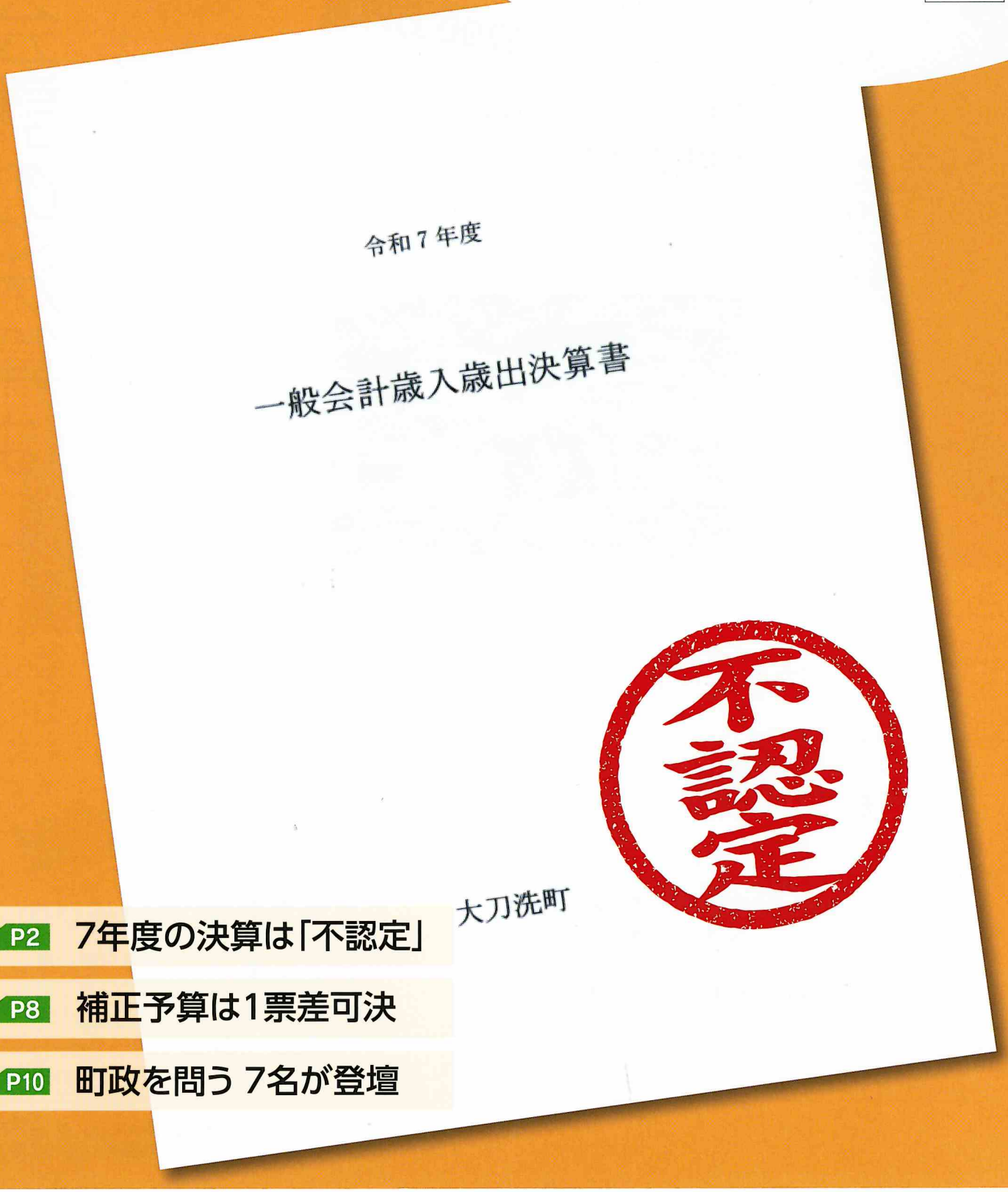
たちあらい

# 議会だより

No.192
令和8年
9月定例会

ホームページも
リニューアル→





P2 7年度の決算は「不認定」

P8 補正予算は1票差可決

P10 町政を問う 7名が登壇

# 7年度 決算審査

# 一般会計の決算は「不認定」

9月定例会は9月3日から29日まで開かれ、7年度の決算や条例案などを審議しました。

決算審査では、特別会計を含む120億円の支出を審議しました。うち一般会計の支出は90億円あまりで、6年度とほぼ同規模でしたが、採決の結果「不認定」となりました。

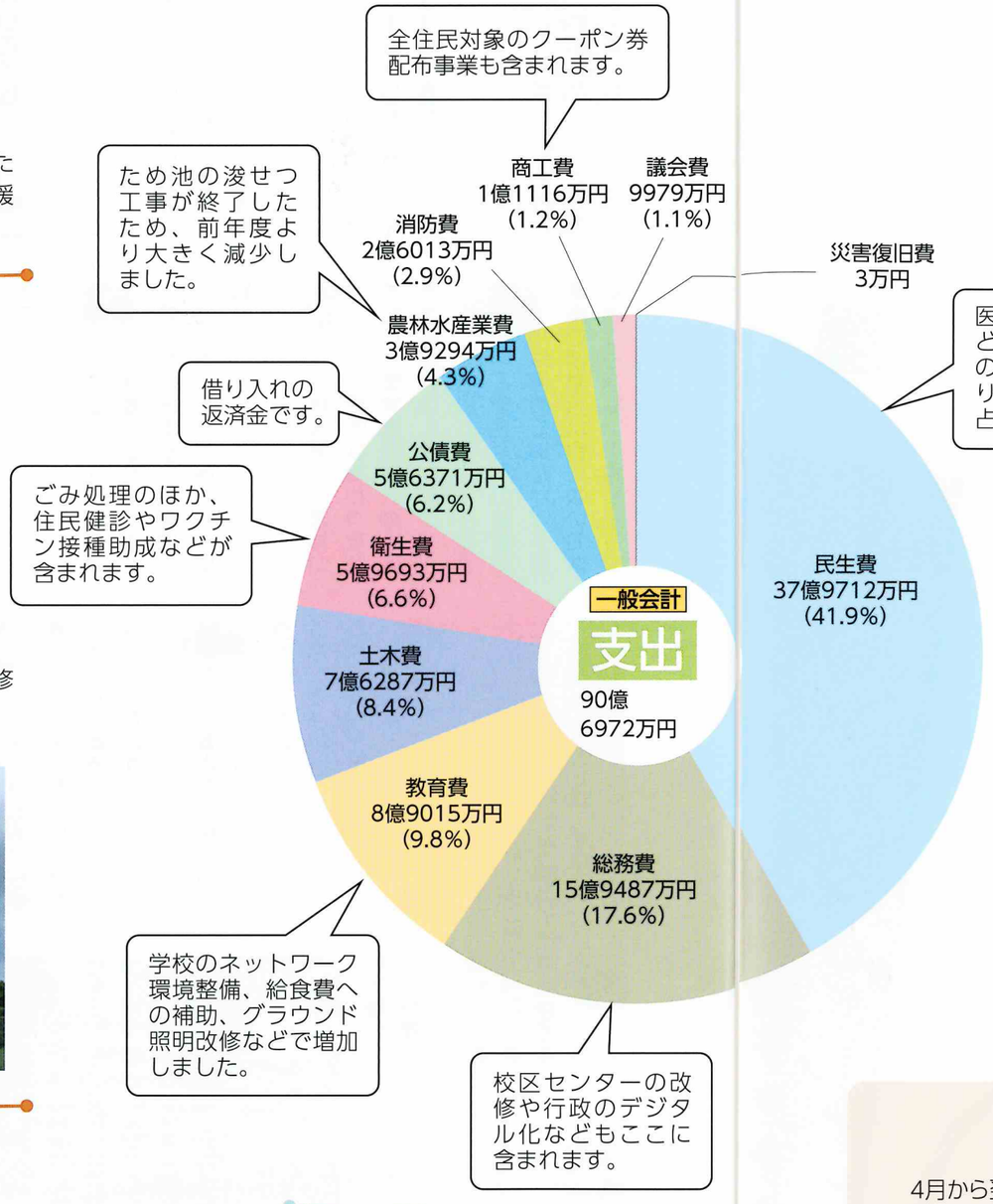
## 決算とは？

4月から翌年3月までの1年間に、町がどれだけの収入を得て、何にいくら支出したのかをまとめたものです。

## 認定とは？

町長が提出した決算案について、議会が、お金の使い方や事業の成果などを審査し、その決算を認めることです。

議会による審査の結果、7年度の一般会計決算は不認定となりました。すでに行われた収入・支出の効力が失われるわけではありません。




8201万円

## 18歳までの医療費を助成

7年度も町独自の助成をおこない、子育て世代の負担軽減と健康増進に寄与しました。

6790万円

## ふれあいセンターを大規模改修

各校区センターの改修を段階的に進めており、7年度は本郷のふれあいセンターを改修しました。



9641万円

## 農業振興を支援

高品質で安定的な生産体制を確立するため、農業機械や園芸施設の導入などに支援しました。

5851万円

## 運動公園の照明をLED化

水銀灯の生産中止にともないLEDに改修し、夜間のスポーツ利用に寄与しています。



1114万円

## のりあい定額タクシー

買い物や通院などの日常的な移動を支援し、7年度で4年目です。

7年度からは新たにタクシー1台を借り上げ、役場などの町内に常駐させています。

6121万円

## 物価高騰対応の子育て応援

物価高騰に直面する子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子ども1人あたり2万円を支給しました。

# 7年度の支出を厳しくチェック

全議員で決算特別委員会を設置し、4日間にわたり7年度の事業や支出をくわしく審査しました。



**議員**　協議会は「かてて」の事業を引き継いだというが、旧かてての未払い金も引き継いだのか。今後、ほかにも未払い金が出てきた場合も、協議会が支払うのか。

**課長**　今後、別の未払い金が出てきた場合は、改めて検討する必要がある。

**議員**　「かてて」はふるさと納税への出品でも疑義があり、国の制度にも抵触する恐れがあると思うが、町は調査したのか。

**副町長**　ふるさと納税との関係については、特に調査を行っていない。

## 「かてて」の運営が是正されていないのでは

**議員**　6年度までの「かてて」の売上金は、町の一般会計に受け入れられている。町はこのお金をどのようなルールで受け入れ、管理していたのか。

**課長**　ルールを決めず、売上金から翌年度の運転資金を残し、残りを一般会計に入れていた。

**議員**　7年度に立ちあげた協議会が、旧かてての未払金を肩代わりしたとのことだが、その根拠は。旧かてての売上金は町の一般会計に入っているので、町が払うべきでは。

**課長**　未払い金を含む予算が議会に認められず、一般会計から支払う予算項目がなかったため、協議会で支払った。

**議員**　予算審議では未払い金の説明はなかったはずだが。事実を隠すためにひそかに紛れ込ませたのか。

**課長**　120万円の積算には含めていたが、予算審議では未払い金については説明していない。

## かててとは？

平成22年に「さくら市場」として発足し、町のPRや農産物、手芸品販売などに取り組んできたとされます。議会の調査では、会計の不備や税の不申告、事業根拠の不透明さなど多くの点が問題視されました。

## ベビーギフトはなぜ中止

**議員**　出産記念事業として「かてて」の商品を新生児世帯にプレゼントする事業は、2年足らずでなぜ廃止となったか。百条委でも契約の内容が問題とされたが。

**課長**　対象者にアンケートをとった結果、地域の物産よりも、実用的な紙おむつミルクなどの希望が多かった。地域とつながるという目的からも乖離（かいり）しており、事業終了となった。




新生児世帯へのベビーギフトの案内

## ブランド推進委託が実施されなかったのは

**議員**　香港の企業に毎年400万円あまりを払ってブランド推進を委託していたが、7年度は委託がなされなかった。もともと必要のない事業だったのではないか。

**課長**　PR的な回数は前年度よりも少なかったかもしれないが、できることは実施したという認識である。



## 第三者委員会へ予備費を支出した根拠は

**議員**　町が設置した第三者委員会の委託料に、予備費から3回に分けて計650万円が充用された。9月には上限594万円と積算していたのに、なぜ補正予算を提案せず、予備費から何度も支出したのか。緊急性も認められないが。

**課長**　当初は200万円で足りると判断したが、その後、調査時間が足りないとの報告を受け、11月に400万円、2月に50万円を充用した。

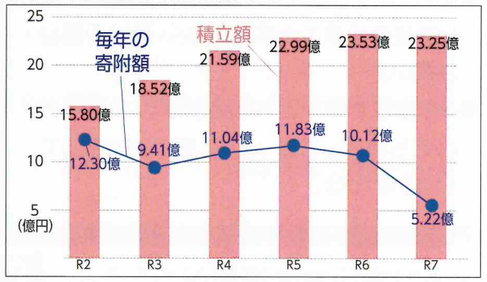
## ふるさと納税が半減しているが

**議員**　7年度はふるさと納税の寄付額が大きく減少しているが、中間事業者の変更も影響したのでは。

**課長**　7年度はプロポーザル方式で新しい中間業者を選定した。手数料、寄付者対応など実務面での強みはあったと思うが、サイト運用や広告などのノウハウが足りない面があり、伸び悩みの影響があったと分析している。

　このほか、主力返礼品が他の自治体でも出品されるようになり、競争が激化したことも挙げられる。

ふるさと応援寄附金の推移




## みらい研究所の効果を明らかに

**議員**　慶応大学との連携事業は、7年度は520万円の支出だが、数年にわたる事業でも目標や効果がよく見えないように思えるが。

**課長**　食育の研究や企業・大学との連携などがある。大学院への職員派遣は2年間の研修中で、現時点で成果を示すのはむずかしい。

## スカイラーク転出後の定住は

**議員**　町のスカイラーク住宅は、将来的に入居者が町内に定住してもらうことが本来の目的と思うが、退去後の状況は把握しているか。

**課長**　スカイラーク建設の目的として、町内への転入を促進することや、その後の定住で循環を生むことを視野に入れている。転出後の状況は把握しておらず、今後調査できるか検討する。



町内に4棟が建っている

## 本郷の佐々木家住宅はどう活用

**議員**　2年間で500万円かけて調査しているが、今後どのように活用するか。文化財指定の検討は。

**課長**　まず文化財的価値の有無を調査した結果、3月末の報告書で価値があると判断している。現在、有形文化財建造物への登録の意見を文部科学大臣に送っており、具体的な検討はその結果が出てからになる。

## 免許証の自主返納と公共交通の連携を

**議員**　免許証の自主返納手続きの際に、公共交通やのりあいタクシーなど十分な説明を。

**課長**　窓口に自主返納の手続きに来られた方には、ひばり号の利用登録案内や職員が窓口にいくなどして登録手続きをおこなっている。

# 来年に生かせ 議会からの提言

決算委員会では、全議員で協議のうえ、町に対し4点の意見を付しました。

## 1 予備費充用の説明を

予備費は災害や感染症への対応など、緊急な支出に対応すべきで、補正予算の時間がある場合は議会に提案し、住民にも使途と金額を明らかにすべきである。

特に同一項目への予備費充用は具体的な理由を説明すべき。

## 2 ふるさと応援寄附金の強化を

寄附額減少の要因を検証し、中間業者、返礼品事業者との連携強化や返礼品の魅力向上など官民一体となった取り組み強化を。

## 3 事業化までのプロセスを明確に

道の駅推進や佐々木家住宅などの事業化のための調査は、町の方針を明確にして推進すること。

## 4 中長期的な事業の検証を

大学連携まちづくり事業などの中長期的な継続事業は、目的、効果を検証し、実効性のある施策につながるよう、見直しを含め検討を。

決算などの報告書はコチラ



特に第三者委員会への予備費の流用は、議会でも議論となり不認定の一因となりました。議会や住民への説明責任が求められます。

野瀬決算委員長

# 不認定の理由は？

### 第三者委員会への支出（647万円）

- 町長が設置した第三者委員会は、設置についても費用についてもまったく議会に提案されておらず、承認もしていない。
- 町の予備費から3回に分けて支出されているが、いずれも緊急性がなく、不当な流用ではないか。
- 1000万円の予備費は、不測の事態に備える予算ではないか。緊急の災害が発生したら町長はどうするつもりだったのか。

# 議員の討論から

一般会計の決算審査では、決算委員会での質疑や議員の自由討議においても、多くの疑問の声や指摘が上がりました。質疑や討論の一部を紹介します。

### 地域ブランド委託の中止（411万円）

- 7年度に委託しなかった理由を聞くと、事業の優先度が低く、実施しなくても特に例年と変わりはなかったとの答弁だった。これまで7年間払ってきた3000万円以上の委託料はなんだったのか。
- 町としても重要な施策の一つとして位置づけていたはずであるが、優先度が低いとはどういうことなのか。

### かてて事業が是正されていない

- 町の販売事業であったものを、7年度からは協議会体制で運営していると説明するが、以前の運営との整合性が取れていない。
- 6年度までの延滞税や未払金を協議会を通して損失補填する根拠がなく、違法の疑いが強い。
- 6年度までのずさんな会計が、7年度においても継続しており、決算書の体をなしていないのでは。

# 私たちは決算案に反対

※賛成討論はありませんでした。



高橋

議会を通さず647万円を支出したことは議会の機能を否定するに等しく、これを認定すれば二元代表制の否定につながる。

職員による海外渡航なども是正されていない。



平山

第三者委の調査費は補正予算で計上できたはずで、予備費の安易な充用は認められない。災害が発生した場合はどうするのか。

一連の経過を総合しても、住民に責任のある説明ができない。



古賀

第三者委員会に対し、緊急性もなく議会にも提案せず、予備費から支出したこと。

かてて事業や地域ブランド事業などについても一貫性のない説明であり承認できない。



大石

公金を支出するのに、議会の承認を受けるという基本的な手続きがなされていない。

ふるさと納税の大幅な減少にたいする検証や、今後の対策も説明されておらず承認できない。



河野

議会を無視するかのように予備費から3回も支出しており容認できない。町職員が根拠をもって職務にあたれるよう、風通しのいい職場づくりを期待する。



白根

新規の事業を立ち上げる際にニーズや継続性などが十分に調査、検討されていない。

第三者委員会に支出した64万7万円は、予備費を充用するのではなく議会に提案すべきだった。

| 決算案と議員の判断 | | 収入 | 支出 | 差し引き額 | 前年度との比較 | 松本照行 | 古賀世章 | 中村竜博 | 平田康雄 | 實藤量徳 | 安丸眞一郎 | 平山賢治 | 河野政之 | 大石純 | 白根美穂 | 野瀬繁隆 | 高橋直也 | 会議の結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 98億5491万円 | 90億6972万円 | 7億8519万円 | 3億1082万円 減 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | − | × | 不認定 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 16億8527万円 | 16億4217万円 | 4310万円 | 6328万円 減 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | − | 認定 |
| | 後期高齢者医療保険 | 3億0869万円 | 2億9810万円 | 1059万円 | 2709万円 増 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | − | 認定 |
| | 土地取得 | 490万円 | 0円 | 490万円 | ±0円 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 認定 |
| | 合計 | 118億5377万円 | 110億0999万円 | 8億4378万円 | 3億4702万円 減 | | | | | | | | | | | | | |
| 下水道 | 収益的 | 6億6345万円 | 6億2220万円 | 4125万円 | − | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 認定 |
| | 資本的 | 2億7116万円 | 4億2874万円 | △1億5758万円 | − | | | | | | | | | | | | | |

※議長は一般会計のみ討論と採決に参加し、副議長が議長職をつとめました。

# 議案など

# 補正予算は1票差で可決

8月と9月の補正予算では、緊急の災害復旧費や熊本地震への見舞金などが提案されました。

このうち、議会事務局の人件費を減額する項目が特に議論となりました。

■8・9月の補正予算で追加、減額されたおもな費用

| | 変更額 |
|---|---|
| 大刀洗川の災害復旧（8月臨時会） | 2700万円 |
| 熊本地震への災害見舞金 | 200万円 |
| 下高橋北部の発掘調査費 | 200万円 |
| 議会事務局の人件費を1名減 | ▲560万円 |

**議員**

議会事務局の人件費として、当初予算では正規職員2名分が計上されていたが、9月の補正で1名分を減らした理由は。議長には三つでも相談したのか。

**課長**

議会事務局は正規職員2名体制の予算であったが、職員の全体数が足りておらず、配置することがむずかしいため。4月の年度初めにはその旨を説明したが、今回の減額にあたっては相談していない。

**反対**



議会への相談もなく議会の人件費を削る自治体は前代未聞では。7年度決算と同じく、議会の機能を否定するもので到底認められない。

※賛成討論はなく、6対5の1票差で可決されました。

## 契約

**1 菊池学童保育所Ⅲ新築工事**

5523万円



工事が始まった学童保育所

**2 小・中学校の体育館への空調設置工事**

1億2210万円

学童保育所の工事契約は、1回目の入札では入札者がなかったため、予定価格を再設定のうえ、2回目の入札で落札されました。

## 固定資産税評価審査委員



江下（えした） 隆弘（たかひろ） さん（再）

任期満了にともない再任。任期は令和8年12月20日から3年間です。

## 人権擁護委員

川野（かわの） 静子（しずこ） さん（再）

山田（やまだ） 清隆（きよたか） さん（再）

任期満了にともない再任。任期は令和9年1月から3年間です。



## 意見書

### ゆたかな学びの実現や、教職員の定数改善に関する請願

請願者 福教組うきは三井支部長
紹介議員　白根 美穂

1. 教育の機会均等と水準向上をはかるため、義務教育費の国庫負担を2分の1へ復元すること。
2. きめ細やかな教育実現のため、30人以下学級や少人数学級の検討を。
3. 教員の長時間労働を是正するため、教職員の増員など定数改善の推進を。

全会一致で採択し、意見書を関係大臣に送付しました。

### そのほかに

印鑑に関する条例や、町道の新規認定や変更・廃止などを審議し、いずれも全会一致で可決しました。

## 交通事故

### 事故の損害賠償で不適切な処理も



**事例1** 令和8年2月
本郷ふれあいセンターにて他の自動車に接触（責任比率10割）
※専決処分をせず不適切処理
損害賠償額 32万円

**事例2** 令和8年6月
役場付近の交差点で他車との接触事故（責任比率9割）
損害賠償額 129万円

**事例3** 令和8年6月
町管理の道路において陥没部分を通過した車のタイヤが破損（責任比率4割）
損害賠償額 5000円

いずれも保険から支払われますが、事故の多発や再発防止策などについて、町の姿勢を問う質疑があいつぎました。

さらに、事例1では、法令で必要な町長決裁（専決処分）をせずに和解、支払いを行っていました。

加えて、不適切な事務処理の発覚後もすみやかに議会へ報告することなく、適正に処理をおこなったかのような文面であったため、9月定例会で町長へ追加の経過説明を求めました。

## 私はこう判断

（○…賛成、×…反対）　※議長は採決に加わりません

| | | 松本 照行 | 古賀 世章 | 中村 竜博 | 平田 康雄 | 實藤 量徳 | 安丸眞一郎 | 平山 賢治 | 河野 政之 | 大石 純 | 白根 美穂 | 野瀬 繁隆 | 高橋 直也 | 会議の結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 補正予算 | 一般会計（9月） | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | − | 可決 |
| | 一般会計（8月） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |
| | 国民健康保険会計 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |
| | 後期高齢者医療保険会計、下水道事業会計（2件） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |
| 条例など | 町道の認定・変更・廃止（3件）、印鑑条例改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |
| | 町車両の自動車事故に関する和解、損害賠償（3件） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |
| 人事 | 人権擁護委員（2名） | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 適任 |
| | 固定資産評価審査委員会委員（1名） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 同意 |
| 契約 | 菊池学童保育所、学校体育館空調工事契約 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |
| 請願など | 教職員定数改善などをはかるための請願・意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | − | 可決 |



# 町政を問う！ 一般質問

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。１人あたりの発言時間は答弁を含まず30分です。

⇩映像配信はコチラ

掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。議事録は、議会事務局、各校区センターでもご覧いただけます。

⇧議事録はコチラ

## 中学校給食費無償化の継続を



**平田 康雄（ひらた やすお） 議員**

**教育長** むずかしいが対応を検討する

**議員** 中学校給食費は来年度以降も無償化の継続を。国の交付金が交付されない場合でも、独自に継続してもらいたいが。

**教育長** 無償化は継続したいが、約3300万円の財源が必要になるので交付金がない場合はむずかしい。町としては独自予算で無償化を継続するのか、または昨年度までと同様に給食費の一部を補助するのか検討する。

**議員** ふるさと応援基金を活用するなど、あらゆる手法を駆使し、給食費無償化を継続してもらいたい。

**町長** 給食費無償化は継続実施するのが望ましいので、町村会などを通じて国・県に対し無償化を強く働きかける。

来年度以降は、交付金や基金の状況などをもとに、予算編成の段階で実施が可能なのか、総合的に検討し判断したい。



学校ごとに温かい給食を提供

## 定額タクシーの運行範囲の拡大を

**町長** 現状と課題を踏まえ研究したい

**議員** 定額タクシーの運行範囲を町外まで拡大できないか。

**町長** 計画の見直しやひばり号登録者へのアンケート調査、交通事業者の意見交換など、現状と課題を踏まえ、対応を研究したい。

**議員** 定額タクシーの料金を1台ごとの支払い方式に変えては。2名で乗る場合、1名分の料金にできないか。

**町長** 乗り合いで乗車する場合の支払い方法については、割引などの手法を今後研究したい。

＊そのほかに、防犯灯のLED化について質問しました。



**議員のつぶやき**

病院に限定し町外への運行を認めること。夫婦での相乗りは1名分の料金にすること。ぜひ検討を。

## マルシェ「かてて」は存続か



**野瀬 繫隆（のせ しげたか） 議員**

**町長** 後継団体の協議会で事業を存続

**議員** 地域活性化の協議会を、なぜ新たに設置する必要があったのか。

**町長** 地域経済を活性化するには町単独では一定の限界があり、農協などの団体と連携し、独自の資源や魅力を生かして活性化に寄与する目的で新たに立ち上げた。

**議員** 協議会設置要綱で「会長が別に定める」事項についてはどうなっているか。

**町長** 規約にもとづき事務局設置や財務、補助金交付などの要領を制定した。

**議員** 大刀洗マルシェ「かてて」は、団体として存続しているのか。協議会との関連はどうなっているか。

**町長** 令和7年4月以降は、後継団体である協議会の事業として実施している。




制度設計を再検証し推進を

## 成果を実感できる大学連携を

**町長** 必要な見直しを繰り返す

**議員** まちづくり研究や人材育成などの大学連携事業は成果が感じ取れないが、具体的に町へどう寄与してきたか。

**町長** 町と町内企業の連携研究を起点に、パートナー企業登録制度や町全体の行政力向上に寄与している。

**議員** 産学官連携は重要であり、地域に根差した事業に見直す必要があると考えるが。

**町長** 研究所の設置目的や成果、必要性、費用対効果を意識し、必要な見直しを繰り返しながら、今後とも職員の人材育成と能力開発に努める。



**議員のつぶやき**

かてて事業の制度設計を再検証し、住民にも分かりやすく協力が得られるよう期待する。ほかの事業も同様です。

## 避難所や避難場所の周知徹底は



**町長** 多様な手段で周知に努めている

**實藤 量徳 議員**（さねふじ かずのり）

**議員** 避難所や避難場所の周知徹底は。避難所の数と定員などは。

**町長** ハザードマップの全戸配布や町のホームページ、LINEでの案内などで周知に努めている。避難所は14か所、定員は3800人である。感染症拡大時や、要配慮者のスペース確保などで受け入れ人数は変動する。国際的な基準であれば半数程度になる。

**議員** ペットといっしょに避難できる場所はあるか。ペットの数が想定より多い場合は。

**課長** 避難所ではペットと同じ部屋にいることはできないので、ドリームセンターのロビーなどで、ケージに入れた状態での避難をお願いしている。今までペットの数が多くなったことはないが、その際は別の施設を考えるか、車中泊をお願いすることになる。



テントを設営した避難所

## プール授業の民間委託は

**教育長** 現在のところ予定はない

**議員** プール授業の熱中症対策が課題となっているが、今年のプール授業の実施時間はどうなっているか。プールサイドの熱さによる事故などはないか。対策は。

**教育長** 小学校で6～12時間、中学校では9～12時間の授業が予定どおり実施されている。

**課長** 熱さによる事故の報告はないが、マットの設置などを検討する。

**議員** 学校プールの維持管理には多額の費用を要するので、水泳指導を民間に委託してはどうか。

**教育長** 民間のスイミングクラブに水泳指導を委託する場合、移動時間や施設の数が限られるので委託する予定はない。

**議員のつぶやき** 猛暑によるケガや維持費用を考えると、民間委託や屋根付きの町営プールを検討する時期では。



## 一刻も早い道の駅の完成を



**町長** 検討には時間をかけたい

**大石 純 議員**（おおいし じゅん）

**議員** 観光資源として、下高橋官衙（かんが）遺跡を道の駅基本構想・計画の検討対象にできないか。

**町長** 官衙遺跡など観光施設の位置づけは、今後の検討課題と考える。

**議員** 災害対策や農家、地域経済の発展のため、可能なものは同時並行で進め、最短の開業目標年度を設定すべきでは。

**町長** 早い開業は同じ思いだが、検討は時間をかけて行いたい。

**議員** 候補地選定にあたっては、候補地比較表を作成してほしいが。

**課長** 最終的には候補地を比較する資料を作る形になると思う。

**議員** 検討委員には、大刀洗の将来に当事者意識を持つ若者、子育て世代、農業者の選任を。

**町長** 委員会の規模にもよるが、委員の選任については今後具体的に検討していく。

**議員** 土地については所有関係、可能性、土地利用規制、概算費用など、候補地決定前から用地調査を。

**課長** 調査を委託するなかで検討したい。




AIで作成したらこんなイメージに（大石）

## 戦没者追悼式典に国旗の掲揚を

**町長** 遺族会の意向を確認し判断する

**議員** 戦没者追悼式の町の位置づけと国旗の掲揚については。

**町長** 遺族会のみならず町の公式行事としており、国旗が掲揚されるのが望ましいが、今後は参列される遺族の意向も確認して判断したい。

**議員のつぶやき** 官衙遺跡の観光化を視野に、経験豊かな事業者との連携で、吉野ヶ里を超える施設の早期実現を。



## 町内の不登校児童生徒の状況は

**教育長** 20人前後で増減を繰り返している

**議員** 町内の不登校児童生徒の状況と支援は。

**教育長** 令和元年度は40人で最多となったが、その後は20人前後で増減している。令和6年度にこども自立サポートセンター「ドリーム」を設置し、7年度からは、県のモデル事業として、大堰交流センターで週1回の教室を実施している。

**議員** 小学校ではタブレット操作が苦手な児童も見受けられたが。

**教育長** 操作への不安や学習のつまずきが学校への行きづらさにつながる可能性は否定できない。授業前後の操作練習など、児童が安心して授業に参加できるように支援している。

**議員のつぶやき** だれ一人取り残さないためのGIGAスクール構想。最初が肝心ですね。



## 防災無線の住民アンケートの考えは



**町長** 必要と判断した時は検討する

**安丸 眞一郎 議員**（やすまる しんいちろう）

**議員** 防災行政無線は令和5年4月から運用されているが、より効果的な設備にするため、住民へのアンケート調査などを実施する考えは。

**町長** 計画はないが、くわしい実態把握が必要と判断した場合は、アンケート実施も含めて検討する。

**議員** 小石原川の左岸地域などの冠水や浸水が多い地域に、屋内型の戸別受信機を設置する考えは。

**町長** 現時点では当該地域に設置の考えはなく、代わる有効な手段として緊急告知防災ラジオを無償配布している。

**議員** 現在使っている周波数は令和11年5月末で終了するとのことだが。

**町長** 再整備が必要になるので、補助制度の創設を国へ要望している。



情報伝達手段の一つだが…。

## 学校へ給水機の設置を



**課長** 可能性について検討する

白根 美穂（しらね みほ） 議員

**議員** 熱中症対策やランドセル症候群対策、ペットボトルなどのごみ削減のためにも、給水機の設置が必要と考えるが、学校への設置の検討は。

**課長** 学校から給水機の設置について要望がないので、検討していない。

**議員** 給水機をリースする場合、1台あたり月額約1万円ほどでできるが。




久留米市図書館にも給水機が

**課長** 限られた予算の中でどこまでできるか、設置の可能性について学校と検討していきたい。

**議員** 公共施設への設置も必要では。

**町長** 財政面や衛生面の管理、また管理運営をになう部門の管理体制や意向も踏まえて判断することが必要と考える。

## 地域ブランド推進事業の評価根拠は

**町長** 応援大使の人数で評価している

**議員** 地域ブランド推進事業について、令和6年度まで「必要性A、有効性A、効率性A、次年度継続」となっているが、なんの数字でAと評価しているのか。

**町長** 町への誇りの醸成、関係人口の増加、町産品のPRと町の知名度向上を施策の取り組みに位置づけ、「たちあらい応援大使」の人数を成果指標としている。令和7年度の応援大使は967名となった。

**議員** 今後、香港事業は再開するのか。

**町長** これまでの経緯や、成果と課題などを踏まえて、十分慎重に検討する。



**議員のつぶやき**

むだな事業がないか精査すれば、必要な財源は確保できるはず。町の施策はすべて住民の福祉に直結すべき。

*このほかに、子どもの権利に関する条例制定について質問しました。

## 法をゆがめる目的での委託か

**町長** そのような認識はない

**議員** 複数の調査で、行政の内部統制が崩壊していることが明らかになっているが、町長は法務を強化して3千万円以上を支出した。昨年、突然この委託が中止されているがなぜか。中止してもなんの影響もない事業だったのでは。

**町長** 百条調査の対応などに追われ、担当課が業務多忙となったため一部の事業を中止した。

事実と異なる説明、著作物の無断使用、法を揶揄、さらに百条委員会の傍聴席で大声で騒ぎ立てて退場を命じられるなどやりたい放題だが。

**町長** 退場については私は承知していない。

## 町長などの海外渡航の効果は



平山 賢治（ひらやま けんじ） 議員

**町長** シンガポール関連は課題があった

**議員** 福岡県政では議会や知事などの海外豪遊が問題となっているが、大刀洗町では議会ではなく町長などの行政側が海外渡航を繰り返している。これまでの費用や効果は。

**町長** 記録の保存期間を過ぎており、正確な費用は分からない。シンガポールへの渡航は、町農産物の売り込みなどを目的としていたが、方法や効果の点などで課題があったと総括している。

**議員** 町が委託している香港の業者の代表は福岡県のOBで、町長も福岡県のOB。この両者が8年間も随意契約を繰り返してきたところか、率先して法をゆがめ、無視する姿勢が一貫していないか。法務部門を強化すると町長が困るのか。

**町長** そのようなことは考えていない。

**議員** 町長が法務の専門家として委託している専門委員は、説明会でも




11年前当時から問題提起していましたが…。

**議員のつぶやき**

自己保身のために事実と異なる発言を繰り返し、職員を混乱させ疲弊させているのだれでしょうか。



追跡リポート

6月定例会

# どうなった あの質問は



一般質問で、町長などが「検討する」と答弁した場合、検討状況を次の定例会までに報告してもらうことができます。
6月議会の質問に対する町の回答をお知らせします。

## 町立公園や大規模遊具の設置は

（平田 康雄 議員）

**問**
・大刀洗校区や本郷校区に、簡易な公園を設置するための検討は。
・町立公園や大規模遊具は、町の総合計画に位置づけて設置を進めるべきでは。次期の総合計画に明記する考えは。

**答** **対応中**

近隣市町村における公園・遊具などの設置状況や基準などを調査中。
次期総合計画への位置づけについては、計画の策定時に検討する。

## 手話言語の国際デーにライトアップ



毎年9月23日は、国連が定めた「手話言語の国際デー」（国内では「手話の日」）です。

令和7年に手話施策推進法が施行され、手話が言語であることへの理解促進と共生社会の実現をめざしています。また、世界各地や国内の自治体で、世界ろう連盟が提唱する青色のライトアップが取り組まれています。

大刀洗町議会でも、趣旨に賛同し、議会関係の執務室でブルーライトアップを実施しました。

# どうだった? 今回の議会

10月6日に、4名のモニターさんと意見交換を行いました。
9月議会での賛否が割れた議案などについて多くの意見をいただきました。
対応が必要なご意見は議会運営委員会で調査し、政策提言や運営の改善に生かします。

## 議員は積極的に意思表示を

**Q** 決算案に賛成の議員からまったく討論がなかったのは違和感があります。賛否の理由が住民にも明確に分かるように、議員は積極的に発言、討論してほしい。

**議会から** 議決機関の構成員として、自身の考えを明確に伝えることは重要だと考えます。
今後は多くの議員が討論に立つように各自努力すると思います。

議会事務局の人件費を削る議案についても、討論が1人しかなかったのは「?」でした。



溝上さん
(冨多)

## 決算が不認定となったが

**Q** 7年度の決算が不認定となりましたが、地方自治法によれば、町長は適切な措置を講じて町民へ報告すべきなのでは。議会も行政の対応を確認してほしい。

**議会から** 決算を不認定と議決したこととあわせて、決算委員会から全会一致で4項目の意見を付しましたので、来年度の予算審議や一般質問などで町の状況を適切に確認、監視します。

決算を不認定とした後が重要だと思います。行政の対応をよくチェックする必要があるのでは。



鈴木さん
(山隈)



## 議長通信

議長　高橋　直也

### 議員の職責として討論に参加

決算審査は、町の1年間の財政運営に対し、議会として判断をくだす重要な議決の場です。町民のために適正に、有効に使われたかを厳しく検証する責任があります。
今回の審査では、第三者委員会への6447万円の支出や、その財源として予備費を繰り返し充用したことが大きな論点となりました。
今回、私も議長席を離れ、反対討論に立ちました。公金の使い方に関わる問題を重く受け止め、認定できない理由を明確に示す必要があると考えたためです。
また、採決をもって議会の役割が終わるわけではありません。指摘した課題への対応を見届け、今後の予算と町政の改善につなげてまいります。

## 手話 通訳あります

本会議などに手話通訳者を配置できます。



お問い合わせ
**議会事務局**　TEL77-4112　FAX48-4011

## 声の議会だより お届けします

議会だよりの全文朗読をCDに収録して自宅にお届けします。

お問い合わせ
**社会福祉協議会**　TEL77-4877



## 役職のなり手不足も考慮を

**Q** 人権擁護委員や民生委員は基本的に無報酬であり、なり手不足が課題となっています。
議会においても、現状の把握や人事案への適切な対応を。

**議会から** ご指摘の役職の待遇が、現代の業務多忙に合致していないのは理解しています。全国的には待遇改善を国に要請したり、市町村独自に支援する例もあり、議会としても対応を考えます。



毎回、平日の夜間に開催しています

人事案件は、現状や時代に則した対応をお願いします。委員の待遇改善も急務です。



川野さん
(西栄田)

決算が不認定でも支出は無効にはならないとのことですが、今後の対応や影響が気になります。行政と議会の再議論などは?



田原さん
(高樋)

## 傍聴席からこんなご意見もいただきました

道の駅の検討はいいですが、開業まで7年かかるのは長すぎるように思えます。

眠っているように見える議員がいました。

水害が多い町の議員として、災害対策などの財源確保にもっと意識を向けてほしい。

全体として、的確でない答弁が多いように感じました。

議会だよりは、よその市町村と比べても読みやすいと思う。



## 広報委員会

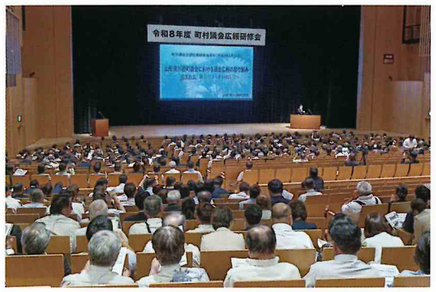
# 全国のすぐれた取り組みを学ぶ

広報委員会は、議会だよりの発行やFacebookの運営など、多様な広報活動を担っています。

8月28日、全国町村議長会の広報研修会が開かれ、委員長が代表参加しました。

現場からの報告として、昨年度のコンクール最優秀賞を受賞した山形県川西町議会、橋本委員長から講演がありました。

川西町議会では、決算審査で事業評価を実施し、それをもとに町長への提言や年間の監視、検証を確立しています。こうした諸活動が紙面からよく伝わり、当町議会としても、紙面の改善とともに、議会活動そのものの深化がさらに必要と痛感しました。




3名の講師から具体的な指導が

ココを生かす 年間の政策サイクルの確立と見える化、住民の皆さんに登場してもらい政治への意見をいただくことなど、さらなる充実をめざします。



平山委員長

## 視察を受け入れました



広報に関することを軸に、広聴や議会改革についても活発に意見交換しています。



世羅町議会のみなさんと

- 7/9 広島県世羅（せら）町議会
- 7/9 鹿児島県日置（ひおき）市議会
- 7/13 京都府精華（せいか）町議会
- 7/23 宮城県利府（りふ）町議会（オンライン）
- 7/28 愛媛県松野（まつの）町議会
- 8/5 岡山県吉備中央（きびちゅうおう）町議会

これまでの受け入れ実績はコチラ ➡

## 議会活性化委員会

# 報酬の見直しや政務活動費を検討中

大刀洗町議員の報酬は20年以上前からほぼ同額のままで、議員年金や日当（費用弁償）、政務活動費も一切ありません。

議会報告会での住民の皆さんからのご意見も踏まえ、若い世代や現役世代の人が立候補しやすい条件となるよう、報酬の見直しや政務活動費の新設を検討しています。

ココを生かす 政務活動費については、使用可能な費目を厳密に定めることや、領収書、報告書の公開などを議論しています。



安丸委員長





## 建設経済委員会

# 先進的な道の駅の状況は

8/3 町が道の駅を検討中のため、先進地を視察し成果や課題を共有しました。

香川県の小豆島町では、当初は健康づくりの中核施設として県の予算で整備されており、その後町へ払い下げられて、福利厚生施設として活用中で、町の初期投資を大きく抑制していました。

指定管理制度を活用し、近年は収益を大きく伸ばしており、2年後は独立を目指す予定とのことでした。

広島県西条町の施設は、広々としたフードコートや無料のキッズルームなどがあり、防災拠点としての役割もあわせて担っていました。

当町においても、複数の目的連携や独創性の発揮などが重要と感じました。



さまざまな野菜がならぶ

ココを生かす 意欲ある人材による攻勢的な経営や、防災拠点としての公的な役割を担うなど、複合的な計画が必要と考えています。



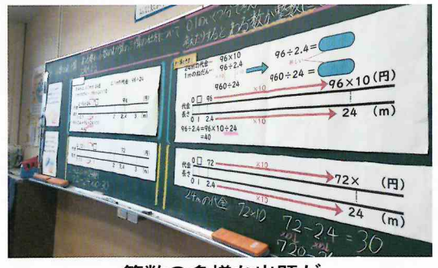
古賀委員長

## 総務文教厚生委員会

# GIGA（ギガ）スクールの進捗は

6/29 GIGAスクール構想を踏まえ、タブレット学習を児童のみなさんがどのように取り組んでいるか、大刀洗小学校を訪問して算数の授業を見学しました。

GIGAスクール構想の基本である、だれ一人取り残すことない、公正で個別最適化された学びを実現する環境整備の推進が必要と感じました。




算数の多様な出題が

**GIGAスクール構想とは**

学校におけるＩＣＴ環境の取り組みで、①だれ一人取り残すことのない環境整備、②高速ネットワーク整備、③デジタル教科書などの教育ＤＸ推進を実現する構想です。

ココを生かす GIGA構想の基本である、取り残しのない環境整備を進めるため、委員会としても他の事例の研究を進めます。



松本委員長

たちあらい 議会だより
第192号
●発行／大刀洗町議会　●編集／議会広報委員会
●発行責任者／高橋直也　●印刷／井上紙工印刷（株）

〒830-1298 福岡県三井郡大刀洗町大字冨多819
TEL (0942)77-4112 FAX 48-4011

新有権者の声

## 町を良くするための1票を投じたい

今区　中松（なかまつ）天海（あまみ）さん（18歳）



**Q** 近況をお聞かせください。

**A** 高校3年生です。2年生のころは公務員を目指していましたが、4歳から練習してきた柔道を続けたいとの思いが強くなり、3年生の夏休みに進路を変更しました。今は、大学受験に向けがんばっているところです。文武両道を目指し、柔道と勉強に励みたいと思っています。

**Q** 18歳になり選挙権を得ましたが。

**A** 小さいころから両親に連れられて投票所に行っていたこともあり、選挙には必ず行くつもりです。

今は、候補者の情報などなにも知らないので、選挙権を得たこの機会に、社会や大刀洗町の状況を知りたいと思っています。投票する場合は、しっかりと候補者の意見を聞いて判断します。私の1票が、大刀洗町を良くする1票になったらいいなと思います。

**Q** 大刀洗町の魅力や課題は。

**A** 自然が豊かで人が温かいと思います。夜になると星空がとてもきれいに見えますし、夕日が美しいので、私は大刀洗町の空が大好きです。また、学校に行くときや家の周りを走っているときなど、すれ違った人があいさつをしていただけるので元気をもらうことが多いです。

いっぽうで、久留米市や小郡市に比べ人が少ない印象があります。もっと人口が増えると、にぎやかになり、町の活性化にもつながると思います。

「文武両道を目指す」という、しっかりとした考えを持った高校生でした。

ぜひ大刀洗町を良くするため1票を投じてください。



聞き手から
（平田）

## インターネット配信やってます




ここをクリック

パソコンやタブレット、
スマートフォンからも
ご覧いただけます

## 次回定例会の予定

12月4日（金）～
21日（月）

一般質問

12月15日（火）～17日（木）

お問い合わせ
TEL 77-4112
FAX 48-4011（議会事務局）

## 編集後記

9月定例会は、町から提案された議案を慎重に審議し、その結果、決算の一部を不認定としたり、補正予算も僅差での可決など、さまざまな結果が発生しました。

町に対する質疑や、議員間の討論など、審議経過が分かりやすく伝わるよう編集に時間を費やしました。一読のうえ、ご意見をいただければ幸いです。（河野）

広報委員長　平山賢治
副委員長　實藤量徳
委員　松本照行
委員　平田康雄
委員　河野政之

議会 Facebookも更新中

QRコードからアクセス